

玉原高原スノーシューハイク山行報告

【山行日】2019年1月20日(日) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 8:00

【費用】マイカー1台 : 2300円

【メンバー】CL:鈴木ユ 安西、大西、岡、関、
福島、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P8:00=スキーパーク
P9:50/10:30~センターハウス 11:00/11:10~
~玉原湿原 11:35~センターハウス 12:00/12:40
~スキーパーク P13:30/13:50=なめこセンター
14:10/14:30=岩舟支所 P15:50



今日は入笠山へスノーシューで登り、マナスル山荘のビーフシチューをいただく予定だったが、前日に雪の状況を確認すると雪がほとんど無かった。今回はスノーシューを購入し、初めて体験する方が多いので雪があるコースを探した。雪があっても初心者でも歩けるコースを探し、玉原高原が最



適と思い行き先を変更した。お目当てのビーフシチューも、〇西が急遽作ってくれることになりお汁粉も準備すると言う。我輩が担ぐ羽目になるが、皆さんの為に頑張ることにした。

岩舟支所を8時とゆっくりのスタートで、10時前に玉原スキーパークに着いた。首都圏から近く人気のスキー場のようで、広い駐車場にはすでに多くの車が止まっていた。係員の誘導に従って車を止め、準備を整えてリゾートセンターに向かう。リゾートセンターはスキー場のレストハウ

スやトイレ、ロッカー、レストランなどがあり、リフト券売り場に入山届けを提出する。下山後も下山ボックスに、下山届を入れるよう指導された。ガイドブックのコースはリゾートセンターの西側から、第一リフト上の第2レストハウスに向かい、ここからブナ平、玉原湿原を周遊するようになっている。

リゾートセンター西からブナの原生林に入り、リフトに沿って第2レストハウスを目指す。最初はトレースが付いていたが、途中から無くなり先頭のラッセルは厳しくなる。20分くらいラッセルしたが、時間的にブナ平まで行くのは無理と判断し、ここから戻って玉原湿原に向かうことにした。来たトレースを戻り途中から右に向かって降りて行くと、センターハウスに向かう道路に降りられた。道路にはトレースが付いており、平坦な道でとても歩き易い。天気は風も無く穏やかで、薄日が差して暖かくスノーシューが初めての方には絶好の日和になった。



皆さん「楽しい」と言いながら雪の道を進むとセンターハウスに着いた。建物は冬季閉鎖されている



が、テラスは利用できキーウイや菓子を食べエネルギーを補給する。センターハウスの前に居た方が近づいてきて「玉原湿原まで周遊できるようにトレースを付けてきました」と言われ、「有難うございます。使わせてもらいます」とお礼を言って出発する。途中の分岐を左に進み、コースを時計回りに周遊することにした。山側の林の中を歩き、その先で下ると湿原に出る。湿原から戻りトレースを左に進むと、自然保護センターの建屋を通りセンターハウス

に戻る。センターハウスのテラスを借りて、ランチの準備にかかる。コンロを2つ使いビーフシチューとお汁粉を同時に温める。フランスパンを1人2個ずつに切り分け、シチューを付けながらいただいた。お汁粉もお餅が柔らかく、とても美味しくいただいた。お腹がいっぱいになったら後片付けを

して、来た道に戻りリゾートセンターに向かう。最後はブナ林の登りなるが、皆さん元気に登りトレースをはずして自在にルートを取りスノーシューを楽しんでいた。リゾートセンターで下山届を出し、トイレを済ませたら車に戻る。駐車場に出たら広い駐車場は車で埋め尽くされ、自分の車が何処にあるのか解らない。



大体の検討を付けて行くと、ピッタシ自分の車に着いたがFさんとSさんはかなりはずれてしまったようだ。途中、なめこセンターの看板が目に入り、覗いてみることにした。店内に入ると

温かいなめこ汁がサービスで振舞われ、とても美味しくいただいた。大福もちも試食でき、なめこ汁との相性は抜群だった。我輩はマイタケとトマトが安かったのでお土産に買い、皆さんも卵や野菜が安いと沢山買っていた。お土産を沢山ゲットし、費用も入笠山の1/3で済み大満足のスノーシューハイクだったようだ。